

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

直近の決算日:

令和 6 年 3 月 31 日

1. 団体の概要					
団体名	(特)	長崎県道路公社		設立目的、経緯及び根拠法 長崎県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。 平戸大橋有料道路が、建設途中の昭和50年4月に主要地方道平戸田平線から国道383号に昇格したため、県での有料道路の維持管理が制度上できなくなることから、以降、有料道路の建設、維持管理及び料金徴収については地方道路公社で行うこととし、平戸大橋有料道路の供用開始前の昭和52年2月1日に長崎県道路公社が設立された。 道路整備特別措置法・地方道路公社法。	
設立年月日	昭和52年2月1日				
所在地等	〒 850-0035				
	長崎市元船町17番1号				
	TEL	(095)823-2600			
	Fax	(095)827-3463			
	E-Mail	honsya@nagasaki-dourokousha.or.jp			
県所管課	土木	部	道路建設	課	定款等に定める事業
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)		有料道路(高速道除く)の新設、改築、維持、修繕、その他の管理、有料駐車場の建設・管理。
	長崎県	6,895,000	100.00		
			0.00		
			0.00		
			0.00		
			0.00		
	その他		0.00		
	総 額	6,895,000	100.00		
ホームページURL		http://www.nagasaki-dourokousha.or.jp/			

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)													
役員 (名)	区分		R3	R4	R5	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他	
	常勤		2	2	2		2						
	非常勤		3	3	3						3		
	合 計		5	5	5	0	2	0	0	0	3	0	
職員 (名)	R3	R4	R5	正規雇用		派遣 県職員	兼務 県職員	非正規雇用		他自治体	民間	その他	
				うち県OB				うち県OB					
	8	9	10	2		3		5		1			
1人当たり人件費(年度推移)				R3		R4		R5		平均年齢		賞与月数	
常勤役員報酬年額(千円)				2,975		3,008		3,092		56 歳		4.0 月	
プロパー平均給料月額(千円)				378		379		389		53 歳			
1人当たり人件費(R5、年代別)				20代以下		30代		40代		50代		60代以上	
プロパー平均給料月額(千円)										389			
各年代別プロパー数(名)										2			
県からの常勤又は非常勤役員				県の役職				団体での役職				区分	
				土木部政策監				理事長				常勤	
				土木部課長				常務理事				常勤	
上記役員以外の顧問等													
県派遣又は兼務職員				土木部参事				総務部長				派遣	
				土木部課長補佐				総務部次長				派遣	
				土木部道路建設課課長補佐				技術部長				派遣	

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)				
組 織 図				
理事長 1名 常務理事 1名 理事 1名 監事 2名 総務部 部 長 1名 参 与 1名 次 長 1名 総務経理班 2名 技術部 部 長 1名 道路管理班 4名 川平有料道路管理事務所 西海パールライン管理事務所 ながさき出島道路管理事務所 ながさき女神大橋道路管理事務所				

3. 県財政負担の状況(千円)			
〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金		貸付金残高	
負担金	519	損失補償・債務保証残高	31,500
委託料	28,969		
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

4. 県の政策との関連性					
1 政策目標					
■ 高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築					
観光の振興、企業立地の促進や物流の効率化には、地域間の時間短縮、定時性の確保やミッシングリンクの解消が課題。このため、地域の交流促進や連携強化に資する高規格道路の重点的な整備を推進。					
2 県との役割分担					
県の役割			団体の役割		
国庫補助事業等を活用して高規格道路などの整備を重点的に進める。			有料道路建設資金の財源に制約を受ける地方公共団体に代わり、民間資金を導入することにより緊急に道路整備を行う。有料道路の建設後は通行料金を徴収し、維持管理費を賄いながら、建設費を償還する。		
法人に委ねる理由			説明		
☒	県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能		一般国道等の有料道路管理者は、道路整備特別措置法第10条により地方道路公社とされる。		
☐	県が直接実施することが困難				
☐	その他				
3 事業実施状況					
事業名		事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1	川平有料道路	一般国道206号の西彼杵郡時津町井手園交差点と長崎バイパスの川平インターチェンジを結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	878,440	R5年度 償還準備金繰入損 496,950千円 損失補てん引当損 95,694千円 その他の費用 285,796千円 計 878,440千円	当該道路は長崎バイパスに連結し、時津町・長与町から長崎市内又は諫早方面及び長崎自動車道へ繋がるアクセス道路。維持管理に多額の費用を要するが、今後とも効率的・効果的な維持管理を行い、費用縮減に努める。また、平成21年度からETC終日3割引を行い、一般国道206号の交通渋滞緩和の役割も果たしており、引き続き通行台数の増加を図っていく。

2	西海パールライン有料道路	長崎市と佐世保市を結ぶ西彼杵道路の一部である有料道路(高規格道路)の維持管理。建設費の償還。	481,804	R4年度 償還準備金繰入損 51,431千円 損失補てん引当損 42,762千円 <u>その他の費用</u> 387,611千円 計 481,804千円	H25年3月に小迎バイパス(大串～小迎)が開通。指方バイパスから西海パールライン有料道路を経由し、小迎バイパスまでの自動車専用道路区間は約14kmとなった。その結果、国道202号と比べ走行時間は10分程度短縮し、西海パールライン有料道路の価値が向上した。今後とも効率的・効果的な維持管理を行う。またR3年度から周辺の施設と提携し、現金通行者に施設割引を行い付加価値を高めることにより、並走する国道202号から有料道路の利用を促進する取組を行っており、引き続き通行台数の増加を図っていく。
3	ながさき出島道路	長崎市内と高速道路の長崎インターチェンジを結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	418,358	R4年度 損失補てん引当損 29,631千円 <u>その他の費用</u> 388,727千円 計 418,358千円	長崎市中心部と長崎自動車道を直結する道路として、観光及び経済活動で重要な役割を果たしている。 R4年3月に長崎自動車道(長崎IC～芒塚IC)が4車線化し安全性が向上したことに加え、交通事故があった際の通行制限の影響が小さくなり定時性が確保されたことなどから、連結する出島道路の通行台数にもプラス効果が現れている。
4	ながさき女神大橋道路	長崎港で分断された長崎市南部と西部を結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	361,460	R4年度 損失補てん引当損 26,843千円 <u>その他の費用</u> 334,617千円 計 361,460千円	長崎市南部と西部を最短距離で結ぶことで市中心部の慢性的な渋滞対策の役割を担っている。時短効果は高いが料金は低廉であり、生活道路として根付いている。 現時点は償還が進んでいるが、将来的には橋梁の塗装塗替等、維持費の増加が見込まれる。

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況										
◎ 達成 ○ 一部達成 × 未達成 — 未実施										
中期計画	No.	項目名	R5実績	計画上の目標値					最終年度(R10)	達成状況
				R2	R3	R4	R5	R6		
		川平有料道路 料金収入(単位:千円)	877,193	927,687	927,687	927,687	927,687	927,687	231,286	×
		(目標値設定の根拠・考え方)								
	①	経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R5実績収入は前期比103.0%となり回復傾向にあるものの目標値の94.6%にとどまっている。長崎スタジアムシティ開業効果に期待。								
	No.	項目名	R5実績	計画上の目標値					最終年度(R10)	達成状況
				R2	R3	R4	R5	R6		
		西海パールライン有料道路 料金収入(単位:千円)	470,216	513,884	513,884	513,884	513,884	513,884	539,226	×
		(目標値設定の根拠・考え方)								
	②	経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R5実績収入は前期比102.0%となり回復傾向にあるものの目標値の91.5%。長崎スタジアムシティ開業効果に期待。								
No.	項目名	R5実績	計画上の目標値					最終年度(R15)	達成状況	
			R2	R3	R4	R5	R6			
	ながさき出島道路 料金収入(単位:千円)	325,936	305,177	305,177	305,177	305,177	305,177	300,996	◎	
	(目標値設定の根拠・考え方)									
③	経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R5実績収入は前期比109.7%となり回復傾向にあり目標値を上回っている。目標値の106.8%。長崎スタジアムシティ開業効果に期待。									
No.	項目名	R5実績	計画上の目標値					最終年度(R17)	達成状況	
			R2	R3	R4	R5	R6			
	ながさき女神大橋道路 料金収入(単位:千円)	295,278	315,433	315,433	315,433	315,433	315,433	220,371	×	
	(目標値設定の根拠・考え方)									
④	経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R4実績収入は前期比101.7%となり回復傾向にあるものの目標値の93.6%。長崎スタジアムシティ開業効果に期待。									
事業目標	No.	項目名	R3	R4	R5	備考				
	①	川平有料道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	805,560千円	812,515千円	861,620千円	R5計画比 101.8%			
			(実績)	807,238千円	851,558千円	877,193千円				
	②	西海パールライン有料道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	452,687千円	464,597千円	449,981千円	R5計画比 104.5%			
			(実績)	467,740千円	461,087千円	470,216千円				
	③	ながさき出島各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	244,708千円	254,071千円	317,903千円	R5計画比 102.5%			
			(実績)	247,580千円	297,193千円	325,936千円				
	④	ながさき女神大橋道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	287,418千円	297,155千円	286,189千円	R5計画比 103.2%			
			(実績)	291,444千円	290,477千円	295,278千円				
	(県が期待する効果の実現)									
評価結果			評価理由							
○	十分実現している		・一部路線において、料金徴収期間満了時に未償還額が発生する可能性が高いが、その場合は公社全体の損失補てん引当金で補填が可能である。 ・道路の施設についても、良好な状態で料金徴収期間満了後、長崎県へ引き継ぐことができる。							
	概ね実現しているが未実現の部分がある									
	実現できていない									
(計画達成状況の判定)										
判定項目			評価基準						点数	
①	中期経営計画の策定		[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している						2	
②	中期経営計画の目標達成		[1点]目標を1項目達成			[2点]2項目以上達成			1	
③	事業目標の達成		[1点]事業目標を1項目達成			[2点]2項目以上達成			2	
④	県が期待する効果の実現		[1点]効果を概ね実現している			[2点]十分実現している			2	
合計								7		

6. 財務の状況

(単位:千円、%)

項 目	R3		R4		R5	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比
【貸借対照表】						
流動資産(A)	2,153,119	110.81	2,775,321	128.90	3,666,278	132.10
うち金銭債権額	2,153,119	110.81	2,775,321	128.90	3,666,278	132.10
うちたな卸資産		-		-		-
固定資産	25,940,439	100.71	26,055,591	100.44	25,951,826	99.60
繰延資産		-		-		-
資産合計(B)	28,093,558	101.42	28,830,912	102.62	29,618,104	102.7
流動負債(C)	218,533	47.09	209,603	95.91	421,619	201.15
うち短期借入金	75,833	94.71	33,500	44.18	31,500	94.03
うち県借入額		-		-		-
固定負債	20,980,025	103.14	21,726,309	103.56	22,301,485	102.65
うち長期借入金	65,000	46.15	31,500	48.46	-	0.00
うち県借入額		-		-		-
うち退職給付引当金	37,226	103.76	21,340	57.33	22,346	104.71
負債合計	21,198,558	101.89	21,935,912	103.48	22,723,104	103.59
株主資本	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00
その他		-		-		-
利益剰余金		-		-		-
純資産又は資本合計(D)	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00
団体債務保証額		-		-		-
県債務保証又は損失補償額	140,833	63.75	65,000	46.15	31,500	48.46
【損益計算書】						
売上高(E)	1,845,217	104.08	1,931,924	104.70	2,000,932	103.57
うち県財政負担額(F)	28,185	112.52	28,184	100.00	28,969	102.79
売上原価	1,736,944	99.98	1,831,021	105.42	2,012,588	109.92
うち人件費(G)		0.00		-		-
販売費及び一般管理費	144,817	109.31	146,830	101.39	126,318	86.03
うち人件費(H)	49,714	97.47	54,790	110.21	51,626	94.23
営業損益	-36,544	37.73	-45,927	125.68	-137,974	300.42
営業外収益(I)	5,288	203.07	1,722	32.56	1,488	86.41
うち県財政負担額(J)	892	84.63	875	98.09	519	59.31
営業外費用	4,209	69.60	35	0.83	1,155	3,300.00
経常損益(K)	-35,465	35.36	-44,240	124.74	-137,641	311.12
特別損益	35,465	35.36	44,240	124.74	137,641	311.12
税引前当期純損益	0	-	0	-	0	-
法人税等		-		-		-
当期純損益(L)	0	-	0	-	0	-
準備金等計上前期純損益	749,429	112.20	839,910	112.07	743,310	88.50
(会計方針の変更による影響額)						
【事業(セグメント)別】						
	売上高	経常損益	当期純損益	準備金計上前期純損益		
川平有料道路	877,688				592,643	
西海パールライン有料道路	481,534				94,193	
ながさき出島道路	345,930	-72,131			29,631	
ながさき女神大橋道路	295,780	-65,510			26,843	

各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等

- ・流動資産中の金銭債権額の増は償還準備金が増加したことにより現預金が増加したため。なお積上げた現預金で無料化の際、県出資金を返済。
- ・流動負債の増は3月末に完成した工事代金の未払金が増加したため。
- ・長期借入金及び債務保証の減少は借入金の返済が着実に進んでいるため。
- ・販売費及び一般管理費の減は支払消費税額が減少したため。
- ・営業(経常)損益のマイナス幅の増加は、出島道路及び女神大橋において昨年度からの繰越工事があったため。
- ・営業外収益及び県財政負担額の減は、正規職員(1名)の定年退職により団体共済の県負担金が減少したため。
- ・営業外費用の増は固定資産の除却に伴い一時的に費用が増加したため。
- ・特別損益の増は出島道路及び女神大橋において償還準備金を取崩したため。

6. 財務の状況

「財務の状況」判定項目	R3		R4		R5		点数
	数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比	
① 経常損益率(K/E)	-1.92	-2.29	119.14	-6.88	300.39	357.90	-2.0
② 当期純損益率(L/E)	0.00	0.00		0.00			0.0
③ 純資産又は資本合計比率(D/B)	24.54	23.92	97.44	23.28	97.34	94.85	-0.5
④ 流動比率(A/C)	985.26	1,324.08	134.39	869.57	65.67	88.26	-2.0
⑤ 県財政負担率((F+J)/(E+I))	1.57	1.50	95.64	1.47	97.99	93.72	0.0
⑥ 人件費比率((G+H)/E)	2.69	2.84	105.26	2.58	90.98	95.76	0.0
合計							-4.5

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定

(団体の自己評価)

「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	2.5	➡	総合判定	B
---------------------	-----	---	------	---

5点以上:A 概ね良好	－4点以上5点未満:B 改善の余地あり	－4点未満:C 一層の努力が必要
----------------	------------------------	---------------------

※事業活動・経営内容の評価・今後の課題及び改善事項等

R2年3月に経営改善計画書(第5回改訂)を作成し、料金徴収期間の満了時点で見込んでいた償還不足額については、損失補てん引当金を活用し償還する計画を立てている。R5年度はコロナ禍からの回復傾向が継続し対前年度比約7千万円の増収となった。また利益相当にあたる償還準備金は約4億1千万円を積上げており、経営状況は改善傾向にある。
なお、今後の通行台数次第では償還期間満了時の出資金返済に影響を及ぼすため、引き続き経営改善に取り組んでいく。

(県の評価)

合計点数	2.5	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由 (加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)
総合判定	B	プロパー職員の定年退職後の不補充及び再任用により、人件費の抑制に取り組んでいる。また、長期借入金、地方公共団体金融機構からの借入金を繰上返済し、計画的に着実な返済が行われている。 R5年度は新型コロナウイルス感染症による影響からの回復傾向が継続し、ながさき出島道路の料金収入が目標値を上回っており、それ以外は目標値を下回るものの、R4年度比約6千8百万円の増収となっている。 また、R5年度は約4億円の償還準備金を積上げており、直ちに資金不足に陥る状況にはない。

(今後の県の関与の方針)

有料道路の建設、維持管理及び料金徴収については長崎県道路公社にて行うこととなっており、また、料金徴収期間が満了し無料化する際には県への出資金を返還する必要があることから健全な法人経営が求められる。このため、経営状況等についての情報公開による透明性の確保やチェック機能の向上を図るとともに、利用促進や経費節減の取組によって健全な経営状況となるよう指導監督を行っていく。